

「保育者養成における 子どものうたの取り扱いについて（２）」

多 保 田 治 江

はじめに

本年（1994年）7月18日～7月23日にかけて行われた「The Twenty-First Biennial World Conference of the International Society for Music Education〔ISME〕」（第21回国際音楽教育会議）^{（註1）}に出席する機会を得た。開会式は開催国アメリカの Wapato Indian Club Performers の歌と踊りで始まり、閉会式ではイギリス・フィンランド・カナダ・アメリカの7つの合唱団、約400人の子どもたちによる合唱と踊りで幕を閉じた。子どもたちから放出されるエネルギーと、ハーモニー作りのため各パートの子どもたちが強制ではなく一役を担って真剣なまなざしでうたっている光景はとても心地のよいものであった。

この国際音楽教育会議は、研究発表・ワークショップ・シンポジウム・コンサートが会期中毎日行われた。世界各国（ガボン・南アフリカ・フィンランド・パプアニューギニア・カナダ・アメリカ・日本）の合唱団が各国の持ち味を生かした合唱曲をコンサートで聞かせてくれた。たとえ意味が理解できなくても、雰囲気でメッセージが伝わる不思議な魅力がうたにある。開会式に寄せられたクリントン大統領のコメントの中に「世界各国どんなに文化や地理的違いがあっても音楽は一つになることができる。」とあったが、音楽は本当に大いなる力があると私は感じた。

今回の小論は前回に引き続き、子どもたちの音楽的成長を握る適切で効果的な活動・環境・援助について検討することとした。その方法として、子どものうたの楽譜に対する学生の意識調査と1993年に実施した幼稚園や保育所で使用されている子どものうたの調査をさらに詳細に分析しその関係を考察する。

子どものうたの楽譜に対する学生の意識調査について

学生が子どものうたを知る方法として乳幼児期や小学校で聴いたりうたったりするものの以外は、楽譜を通して知ることとなる。その第一印象が次への糸口となる。保育者は歌詞やメロディ・リズム・テンポ、そのうたの雰囲気をも楽譜から読み取りうた声で表現したり、伴奏を弾くことによって子どもたちのうた声を支える役目がある。十分に曲のイメージを子どもたちに伝えるためには、伴奏の弾き手が自由な気持ち、開放された状態であることが必要であろう。

子どものうたの楽譜を次の3種類に分けることとする。（資料 p. 73参照）

一段楽譜

- ・あそびうたの楽譜によく見られるメロディだけが書かれたもの

二段楽譜（大譜表で書かれたもの）

- ・右手メロディ、左手伴奏が書かれたもの

三段楽譜（メロディ＋伴奏パートが大譜表で書かれたもの）

- ④メロディパートの他に伴奏パートの右手和音の上声部がメロディで書かれたもの
- ⑤メロディパートの他に伴奏パートがコードに合わせ両手でリズムを刻むように書かれたもの

方 法

子どものうたの楽譜から受ける印象について保育科1・2年生計210名に調査した。

一段楽譜・二段楽譜・三段楽譜⑤のプリントを見てその印象を自由筆記する。

結 果

一段楽譜について

	2年生	1年生
○メロディがわかりやすい	81	72
○メロディだけではつまらない	19	27
○動きが伴うのでこのスタイルになるのだろう	6	5
○曲の感じが掴みにくい	3	2

二段楽譜について

	2年生	1年生
○右手でメロディを弾くので、うたいやすい	68	55
○伴奏者に負担が少く雰囲気も表現しやすい	17	22
○うたい手にはうたいやすく、伴奏者に弾きやすい	7	14
○メロディの休符の部分にも伴奏があり効果的である	4	0
○メロディ部分があるのでピアノ演奏ができる	2	0
○三段楽譜のものに比べおもしろみに欠ける	1	1
○どの年齢の子どもにもうたいやすい。	1	0

三段楽譜⑤について

	2年生	1年生
○メロディが伴奏になく頭に浮べてうたわねばならない	28	49
○様々な音が重なりスケールが大きくなる	20	10
○うたのメロディを把握した上で伴奏した方がよいので練習時間が必要である	27	6
○うたの雰囲気が感じ取りやすい	20	6
○一段楽譜や二段楽譜に比べ演奏すると格好よく高度に	8	13

「保育者養成における子どものうたの取り扱いについて（２）」

見える。

○うたと伴奏との響きがよい	10	10
○リズムにのりやすく楽しくうたえる	10	10
○うたの誘導者の役目が大きい	2	0

一段楽譜・二段楽譜に関して１・２年生とも同じ回答の傾向であったが、三段楽譜⑥に関しては異なった。１年生はまだ実際に子どもと一緒にうたった経験がないのでその反応を知らないためではないかと思われる。一見、楽譜だけの印象だと難しそうであるがそれにも増して伴奏効果があることを２年生は実感しているからであろう。「自らが奏する時は…」という回答もあるが子どものうたの中心は子どもたちなのであるから伴奏を弾くことは難しいという学生達の殻を破り、子どもたちが楽しみ、求め、工夫する活動の援助ができるようにアドバイスする必要性を強く感じた。

最近「子どものうた簡易伴奏集」が以前より多く出版されている。中には伴奏者が弾きやすい調性であったり、伴奏形態もオリジナルとは随分違うものもあるので注意して用いなければならない。

次に「かえるの合唱変奏曲」^{（註２）}を筆者が演奏し、保育科１・２年生に感想を求めた。

感 想	２ 年 生	１ 年 生
○アレンジによって曲の雰囲気・感じ方も変化する	59	99
○テンポ・ダイナミックス・音域の変化などピアノは幅広い表現のできる楽器である	68	23
○変奏曲は次のアレンジへの期待もあり楽しい	10	8
○奏者の演奏力によって変奏曲が生きる	2	1
○楽しいアレンジは自然に身体も動く	2	0
○楽しいアレンジは子どもの耳を育てる	1	0

「かえるの合唱変奏曲」によって聴いている学生が心を揺さぶられた様子やピアノという楽器の特質に気づいたことが窺える。

幼稚園・保育所で使用されている子どものうた（その２）^{（註３）}について

提示曲ベスト50曲の楽譜の種類・調・拍子・小節数・リズムパターン・開始音・音域・音程関係について分析した。

○楽譜の種類

1. 二段楽譜		14	}	34
	$1 + 2^{*1}$	13		
		7		
2. 三段楽譜④				
	$2 + 3^{*2}$	7	}	16
		8		
3. 三段楽譜⑥	$1 + 2 + 3^{*3}$	1		
		<hr/> 計50		

メロディが伴奏で演奏されるものとそうでないものは7：3の割合であった。

○調

長 調	短 調	曲 数
C Dur	C moll	15
D Dur		1
Es Dur		10
F Dur		3
G Dur		16
G Dur		5
計		50

「うれしいひなまつり」が唯一短調の曲であった。

○拍子

		曲 数	
2 拍 子 系	4 分の 2 拍子	28	46
	4 分の 4 拍子	16	
	2 分の 2 拍子	1	
	8 分の 6 拍子	1	
3 拍 子 系	4 分の 3 拍子	4	4
計		50	

圧倒的に2拍子系の曲が多い。3拍子系の子どものうたは「こいのぼり」「ぞうさん」「ありさんのおはなし」「うみ」の4曲であった。

*¹ 1と2の併用型 メロディの一部が和音になっている

*² 2と3の併用型 部分的にコードで書かれメロディがない

*³ 1 + 2 + 3 それぞれの要素がある

「保育者養成における子どものうたの取り扱いについて（２）」

○小節数

小節数	曲 数	小節数	曲 数
4	1	14	3
6	1	16	14
7	2	17	1
8	13	20	1
12	14	計	50

1 コーラス 4 小節で作曲され、その中でうたの持ち味を表現しなくてはならない「なみとかいがら」から、その 5 倍である 20 小節かけて表現する「あわてんぼうのサンタクロース」まであり、4 の倍数で作られた曲が 43 曲（86％）と多かった。

○リズムパターン

パターン数	曲 数	パターン数	曲 数
2	3	6	4
3	7	7	7
4	10	8	6
5	12	9	1
		計	50

4 分の 2 拍子で多いリズムパターン（28 曲中）

- ①  18 ②  13 ③  10 ④  8
 ⑥  7 ⑦  6
 ⑩  4

4 分の 3 拍子で多いリズムパターン（4 曲中）

- ①  4 ②  2

4 分の 4 拍子で多いリズムパターン（16 曲中）

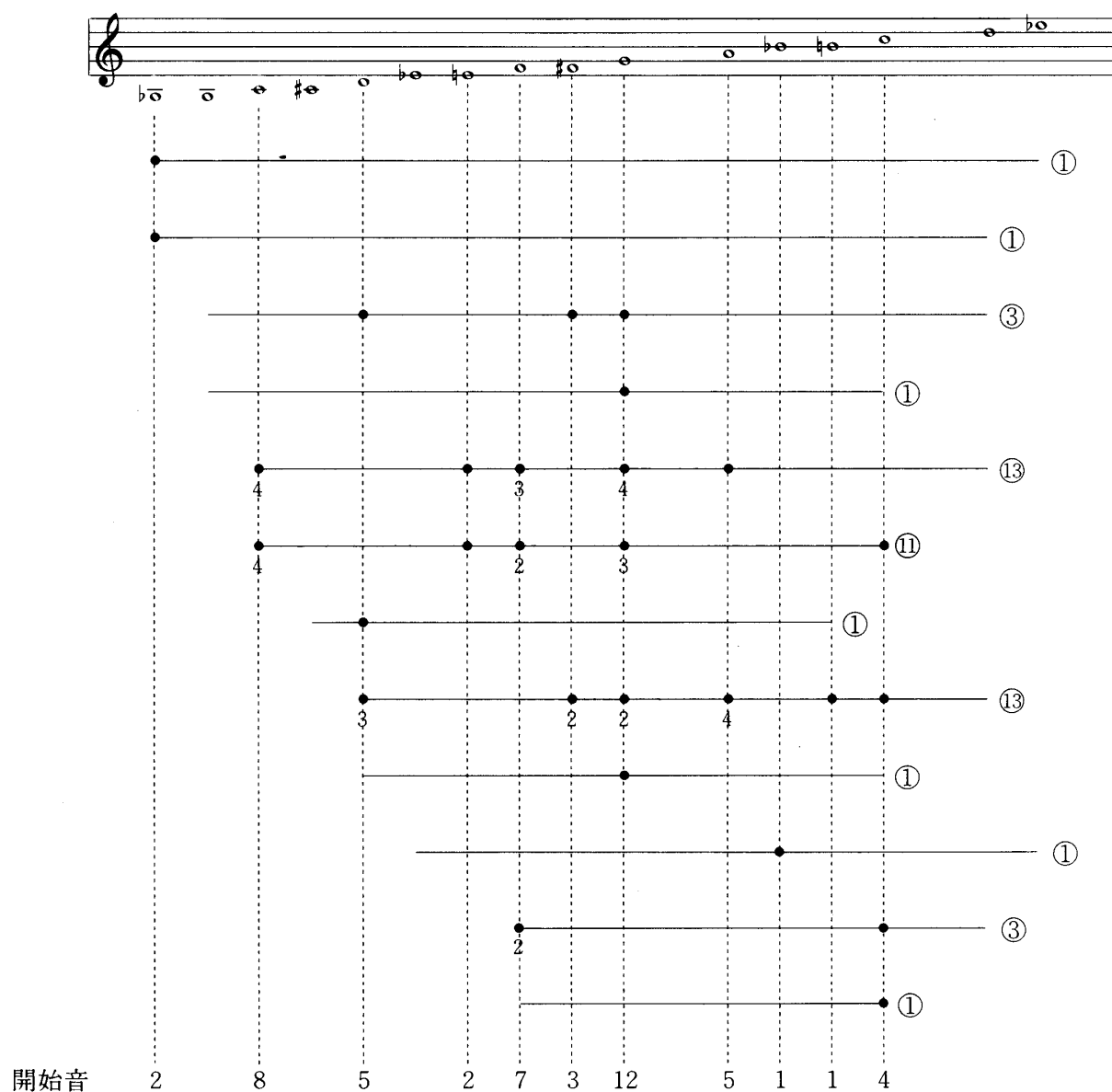
- ①  7 ②  4
 ⑥  3

多 保 田 治 江

2 分の 2 拍子 } は一曲のみであるので省略
8 分の 6 拍子 }

幼稚園や保育所での子どものうたの誘導は楽譜を通してではなく、範唱で行う。「うたいやすさ」の1つの条件としてリズムパターンの数が少く記憶しやすいことも入ると思われる。提示曲ベスト50曲の中でリズムパターンが2つで作曲されているのは「ありさんのおはなし」「こぶたぬきつねこ」「ちょうちょう」の3曲であった。また、「ゆき」が最も多く9つのリズムパターンで作曲されていた。

○開始音と音域



「保育者養成における子どものうたの取り扱いについて（２）」

最も音域が広い子どものうたは「しゃぼんだま」で１オクターブと完全４度の隔りであった。最も狭いのは「ちょうちょう」で完全５度の音域であった。

メロディの開始音では g^1 （１２曲）と最も多く、次いで C^1 （８曲）・ f^1 （７曲）の順でこれら３音の合計は全体の過半数を占めた。

近頃「音楽Ⅰ（声楽）」の授業において感じることであるが、学生の声域が狭く高音がうたいづらそうに見受けるが、 C^2 から始まる子どものうたも４曲（８％）あった。

○音程関係

分析の方法は提示曲ベスト５０曲のメロディ各２音間の音程において完全１度の関係を０とし、短２度の関係を０.５という数値で隔りを示した。

音 程	使用頻度	使用率
0	481	28.33
0.5	164	9.66
1	558	32.86
1.5	216	12.72
2	116	6.83
2.5	111	6.54
3	0	0.00
3.5	33	1.94
4	6	0.35
4.5	10	0.59
5	1	0.06
5.5	0	0.00
6	2	0.12
総 数	1698	100.00

１（長２度）が最も多く使用され、次いで０（完全１度）が続き、両者で全体の６１.１９％を占めた。また、３（増４度）・５.５（長７度）の音程は使用されていなかった。

次に、メロディを構成する３音間の音程関係を調べ集計を行った。これはメロディの流れの特徴を掴むためである。流れの上昇はプラス、下降はマイナスとして分析した。

3 音間の音程関係のクロス集計

音程II	-5	4. 54	3. 53	2. 52	1. 51	0. 50	0. 51	1. 52	2. 53	3. 54	4. 55	5. 5 +6
音程I												
+6					1							
5. 5												
5												
4. 5				3			1					
4					1							
3. 5			1	1	3	5	8		1			
3												
2. 5			1	6	3	8	10	3	7	5	1	4
2		2		4	1	2			6	6	1	2
1. 5			1		2	2	3	5	3	2	6	
1		1	3	1	5	1	4	1	1	3	7	3
0. 5	1			1	1	5	1	2	0	1	3	5
0		2	9	1	2	1	2	5	7	8	9	2
0. 5				6	3	4	3	1	8	8	2	4
1			2	6	1	3	1	6	0	1	9	5
1. 5				2	1	1	3	9	3	8	1	0
2				2	3		7	1	4	1	7	1
2. 5					3	5	1	1	1	3	4	3
3												
3. 5					1		6			1	3	
4							3					
4. 5							2					
5										1		
5. 5											1	

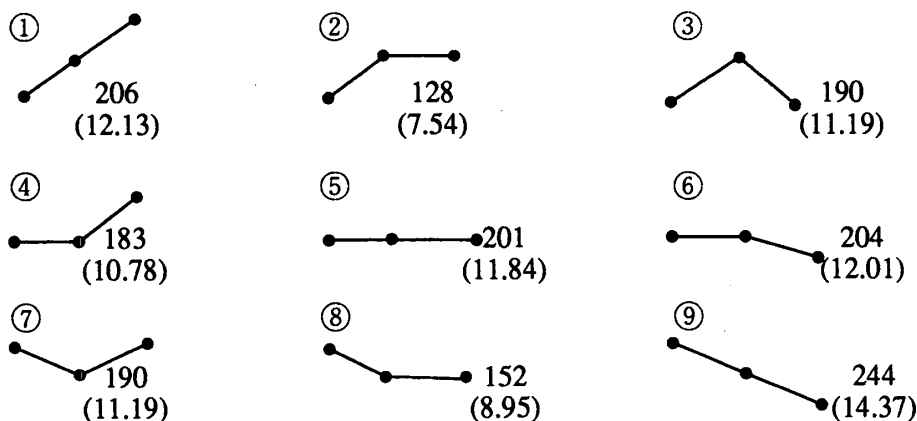
音程I 3音の1-2の音程
音程II 3音の2-3の音程

1

-6

音程関係は9つのパターンが考えられる。

「保育者養成における子どものうたの取り扱いについて（２）」



3音の流れが下降する⑨のパターンが一番多く使用され、反対に上昇して同音に進む②のパターンが少かった。

また、音程の隔りが広い子どものうたは次の11曲であった。

広い音程を持つ子どものうた

+6	, 0	〔やきいもグーチャーパー〕	$c^1 - c^2 - c^2$
+6	, -1.5	〔せんせいとおともだち〕	$c^1 - c^2 - a^1$
+4.5	, +0.5	〔コンコンクシャンのうた〕	$c^1 - a^1 - b^1$
+4.5	, -2	〔おばけなんてないさ 3回〕	$d^1 - h^1 - g^1$
+4	, -1.5	〔やきいもグーチャーパー〕	$e^1 - c^2 - a^1$
+4	, -0.5	〔やきいもグーチャーパー〕	$e^1 - c^2 - h^1$
+2	, -4.5	〔ふしぎなポケット〕	$g^1 - h^1 - d^1$
+1.5	, -4	〔どんぐりころころ〕	$a^1 - c^2 - e^1$
+1	, -4.5	〔コンコンクシャンのうた〕	$g^1 - a^1 - c^1$
+0.5	, -5	〔コンコンクシャンのうた〕	$a^1 - b^1 - c^1$
0	, +4.5	〔まつぼっくり〕	$c^1 - c^1 - a^1$
0	, -4	〔あめふりくまのこ〕	$a^1 - a^1 - cis^1$
		〔たきび〕	$c^2 - c^2 - e^1$
-1	, +6	〔やきいもグーチャーパー〕	$d^1 - c^1 - c^2$
-1.5	, +4	〔やきいもグーチャーパー 2回〕	$g^1 - e^1 - c^2$
-2	, +6	〔せんせいとおともだち〕	$e^1 - c^1 - c^2$
-2	, +4.5	〔森の熊さん〕	$e^1 - c^1 - a^1$
-2.5	, +4.5	〔おばけなんてないさ 3回〕	$g^1 - d^1 - h^1$
-3.5	, +4.5	〔雪のペンキやさん〕	$g^1 - c^1 - a^1$
-4	, 0	〔あめふりくまのこ〕	$a^1 - cis^1 - cis^1$
		〔たきび〕	$c^2 - e^1 - e^1$
		〔どんぐりころころ〕	
+4.5	, -3.5	〔コンコンクシャンのうた〕	$a^1 - c^1 - g^1$
+4.5	, 0	〔ふしぎなポケット〕	$h^1 - d^1 - d^1$
+5	, +4.5	〔コンコンクシャンのうた〕	$b^1 - c^1 - a^1$

多 保 田 治 江

- 6 回・やきいもグーチャーパー
 - ・おばけなんてないさ
- 5 回・コンコンクシャンのうた
- 2 回・せんせいとおともだち
 - ・どんぐりころころ
 - ・あめふりくまのこ
 - ・たきび
- 1 回・ふしぎなポケット
 - ・まつぼっくり
 - ・森の熊さん
 - ・雪のペンキやさん

これらのうたを子どもたちとうたう時は、跳躍する音程に子どもたちが気づくようにハンドサインを保育者が行い、視覚的にも訴える配慮が必要であると思われる。

○教材の分類

1993年に実施した調査における提示曲（270曲）、自由記載曲（446曲）合計716曲の分類を行った。

提示曲の分類	曲数
・動物となかま（67曲）・植物（32曲）・乗物（9曲）・食物（8曲）	116
・季節・行事・自然	81
・生活・遊び	73
	<hr/> 270
自由記載曲の分類	
・生活・遊び	174
・季節・行事・自然	163
・動物となかま（58曲）・植物（28曲）・食物（16曲）・乗物（7曲）	109
	<hr/> 446

1986年に今回と同様な調査^(註4)を実施し、自由記載曲が310曲掲げられた。7年後の現在もうたわれている曲は112曲ありそのうちわけは次の通りである。

	曲数	残留率
・生活・遊び	40	(23.0%)
・季節・行事・自然	38	(23.3%)

「保育者養成における子どものうたの取り扱いについて（２）」

・動物となかま（17曲）・植物（12曲）	34（31.2%）
食物（3曲）・乗物（2曲）	
	<hr/> 112（25.1%）

残留率が4分の1である要因として、常に保育者が教材研究を行い、子どもたちの活動にふさわしいうたを追い求めていることが考えられる。1986年の調査に比べ特に多くの幼稚園・保育所でうたわれるようになった子どものうたは「ありがとうさようなら」「北風小僧の寒太郎」「すてきなパパ」「ドキドキドン一年生」「ホ！ホ！ホ！」「南の島のハメハメハ大王」の6曲であった。

次に、提示曲・自由記載曲の分類別の考察と、1986年調査のデーターとの比較検討を行った。うたいつがれる子どものうた、一過性の子どものうたを知ることができるからである。

I. 生活・遊び

生活・遊びに関する提示曲（73曲）・自由記載曲（174曲）合計247曲は、全体の34.5%を占めた。そのうち過半数の幼稚園・保育所で使用されている曲は次の21曲であった。（子どものうた分類別表1）

1位の「はをみがきましょう」は1986年調査と同様、幼稚園5歳児クラスを除き多くの幼稚園・保育所で使用されている。スキップのリズムで軽やかなこのうたは話し言葉のアクセントとメロディが自然に表現されてもいる。

2位の「せんせいとおともだち」も1986年調査と同様、幼稚園5歳児クラス・保育所3歳未満児クラスを除き多くで使用されている。3歳未満児にとってメロディに用いられている完全8度の隔りがうたいづらいことが一因であろう。

3位の「やきいもグーチーパー」は軽やかなスキップのリズムで、じゃんけんあそびをしながらうたえる。1986年調査に比べ、よく使用されるようになった。他に、4位「おばけなんてないさ」、6位「大きなくりの木の下で」、10位「しゃぼんだま」、15位「小さな世界」がよく使用されるようになった。

一方、18位「時計のうた」は1986年調査に比べ使用されなくなっている。

また、11位「そうだったらいいのにな」、20位「空にらくがきかきたいな」など子どもの夢を描いたうたも含まれている。

10位「しゃぼんだま」（大正9年、金の船）13位「水あそび」（明治34年、幼稚園唱歌）がうたいつがれている。

自由記載曲では、「南の島のハメハメハ大王」「ホ！ホ！ホ！」「ぼくはキャプテン」が多くの園（所）で使用されている。この3曲は1986年の調査にも掲げられており使用する園（所）が増加の傾向であった。

多 保 田 治 江

子どものうた分類別表 1

I 生活・遊び (21)

I 生活・遊び (21)		曲 名	1993年調査										1986年調査					
			園 数	使 用 率	幼稚園			保 育 所				幼稚園			保育所			
			3	4	5	全	末	3	4	5	未含, 全	3	4	5	末	3	4	5
1	はをみがきましよう	常	◎	◎	◎	13	◎	◎	◎	◎	17, + 8	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2	せんせいとおともだち	3 常	◎	◎	◎	11	◎	◎	◎	◎	11, + 6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	やきいもグーチャーパー	2 常	◎	◎	◎	12	◎	◎	◎	◎	10, + 8	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	おばけなんてないさ	常	◎	◎	◎	9	◎	◎	◎	◎	11, + 10	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6	おはなしゆびさん	常	◎	◎	◎	5	◎	◎	◎	◎	11, 0	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
8	大きなくりの木の下で	常	◎	◎	◎	7	◎	◎	◎	◎	20, 0	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
9	ふしぎなポケット	常	◎	◎	◎	3	◎	◎	◎	◎	6, + 3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
10	おもちゃのチャチャチャ	常	◎	◎	◎	9	◎	◎	◎	◎	9, + 6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
11	せつけんさん	常	◎	◎	◎	5	◎	◎	◎	◎	4, + 3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
13	しゃぼんだま	常	◎	◎	◎	4	◎	◎	◎	◎	14, + 4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
14	すうじのうた	常	◎	◎	◎	6	◎	◎	◎	◎	5, + 10	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
15	そうだったいのにな	常	◎	◎	◎	7	◎	◎	◎	◎	4, + 7	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
16	水あそび	常	◎	◎	◎	4	◎	◎	◎	◎	14, + 1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
17	ともだち賛歌	常	◎	◎	◎	4	◎	◎	◎	◎	1, + 4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
18	小さな世界	常	◎	◎	◎	14	◎	◎	◎	◎	3, + 4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
19	たのしいね	常	◎	◎	◎	6	◎	◎	◎	◎	3, + 7	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
20	手のひらを太陽に	常	◎	◎	◎	1	◎	◎	◎	◎	0, + 2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
21	時計のうた	常	◎	◎	◎	5	◎	◎	◎	◎	8, + 3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
22	クラリネットこわしちやっ	常	◎	◎	◎	2	◎	◎	◎	◎	1, + 4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
23	空にらくがきかきたいな	常	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1, + 1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
24	あらどこだ	常	◎	◎	◎	3	◎	◎	◎	◎	1, + 1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

II. 季節・行事・自然

季節・行事・自然に関する提示曲（81曲）・自由記載曲（163曲）合計244曲は、全体の34.1%を占めた。そのうち過半数の幼稚園・保育所で使用されている曲は次の22曲であった。（子どものうた分類別表2）

1位「おかあさん」は幼稚園・保育所計76園（所）中73園（所）でうたわれ最も使用率が高く96.1%であった。5月母の日、6月父の日とご父母を迎えての行事が行われるが、残念ながら提示曲には父親をテーマにしたうたがなかったが、自由記載曲では次の12曲が掲げられた。その中で「すてきなパパ」が使用頻度が高かった。

・すてきなパパ	作詞 前田恵子	作曲 越部信義
・おとうさん	作詞 筒井敬介	作曲 越部信義
・パパはママが好き	作詞 薩摩 忠	作曲 J. モテット
・パパのうた	作詞 平岡照章	作曲 平岡照章
・ぼくのおとうさん	作詞 おうちやすゆき	作曲 岩崎三郎
・ちちのひ	作詞 武鹿悦子	作曲 おさわたつゆき
・とうさんのくつわたしのくつ	作詞 まどみちお	作曲 服部公一
・パパとスキップ	作詞 たなべまもる	作曲 若松正司
・パパの背広	作詞 浅田真知	作曲 福田和未子
・パパのて	作詞 中沢由美子	作曲 宇野誠一郎
・わすれんぼパパ	作詞 福尾野歩	作曲 中川ひろたか

2位の「うれしいひなまつり」、20位「ちいさい秋みつけた」は子どものうたとして数少ない短調の曲である。

調査地域が北陸三県の幼稚園・保育所であったため雪にちなむ曲が9位「雪のペンキやさん」、11位「雪のこぼうず」、14位「雪」、21位「ゆきってながぐつすきだって」の4曲が含まれていることが特色である。

1986年の調査に比べて6位「たなばたさま」、12位「まめまき」、14位「雪」がよく使用されるようになった。

14位「雪」（明治44年、尋常小学唱歌）、16位「お正月」（明治34年、幼稚園唱歌）がうたいつがれている。

自由記載曲では、「ありがとうさようなら」「北風小僧の寒太郎」「おひさまにジャンプ」「ドキドキドン一年生」が多く、園（所）で使用されている。いずれも1986年の調査にも掲げられており使用する園（所）が増加の傾向であった。

III. 動物となかま・植物・食物・乗物

動物となかま・植物・食物・乗物に関する提示曲（116曲）・自由記載曲（109曲）合計225曲は、全体の31.4%を占めた。

子どものうた分類別表 2

II 季節・行事・自然 (22)

II 季節・行事・自然 (22)			1993年調査										1986年調査									
曲 名	園 数	使 用 率	幼稚園					保 育 所					幼稚園					保 育 所				
			3	4	5	全	未	3	4	5	未	3	4	5	全	未	3	4	5	未	3	4
1 おかあさん 4 5	73	96.1%	◎	◎	◎	13	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2 こいのぼり 4 5	71	93.4%	◎	◎	◎	26	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
うれしいひなまつり 2 3	71	93.4%	◎	◎	◎	29	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
おもいでのアルパム 4 2 3	70	92.1%	◎	◎	◎	9	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
あわてんぼうのサンタクロース 1112	68	89.5%	◎	◎	◎	19	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
たなばたさま 7	64	84.2%	◎	◎	◎	21	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
とけいのうた 5 6	63	82.9%	◎	◎	◎	11	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
一ねんせいになったら 2 3	63	82.9%	◎	◎	◎	1	／	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
雪のペンキやさん 121 2 3	62	81.6%	◎	◎	◎	10	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
大きな古時計 5 6 3 常	59	77.6%	◎	◎	◎	1	／	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
雪のこぼろ 121 2 3	57	75.0%	◎	◎	◎	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
まめまき 1 2	56	73.7%	◎	◎	◎	13	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
たきび 1011121	55	72.4%	◎	◎	◎	6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
雪 121 2 3	54	71.1%	◎	◎	◎	8	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
カレンダーマーチ 121 2 3 常	53	69.7%	◎	◎	◎	6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
お正月 121	50	65.8%	◎	◎	◎	9	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
なみとかいがら 4 7 8 9	50	65.8%	◎	◎	◎	7	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
まっかな秋 9 1011	48	63.2%	◎	◎	◎	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
うんどうかい 9 10	46	60.5%	◎	◎	◎	13	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ちいさい秋みつけた 8 9 1011	45	59.2%	◎	◎	◎	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ゆきってながぐつすきだって 121 2	42	55.3%	◎	◎	◎	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
うみ 7 8 9	42	55.3%	◎	◎	◎	5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

子どものうた分類別表 3

○動物となかま (23)

○動物となかま (23)

		1993年調査										1986年調査									
		園 数		幼稚園		保 育 所						幼稚園		保 育 所							
曲 名		3	4	5	全	未	3	4	5	未含, 全	3	4	5	未	3	4	5				
1	かたつむり 5 6	67	88.2%	◎	○	○	15	◎	◎	◎	◎	◎	◎	29, +1	◎	○	◎				
2	おつかいありさん 4 5 6 7 8 9 常	66	86.8%	◎	○	○	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	18, +3	◎	○	◎				
3	アイアイ 5 7 8 9 11 2 常	65	85.5%	◎	○	○	5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	7, +2	○	／	◎				
	とんぼのめがね 7 8 9 10 11 常	65	85.5%	◎	○	○	11	◎	◎	◎	◎	◎	◎	26, +1	◎	○	◎				
	ぞうさん 4 5 常	65	85.5%	◎	○	○	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	13, 0	◎	／	◎				
6	いぬのおまわりさん 4 5 11 1 常	64	84.2%	◎	○	○	7	◎	◎	◎	◎	◎	◎	16, +2	◎	◎	◎				
	あめふりくまのこ 5 6 7 常	64	84.2%	○	◎	◎	6	○	◎	◎	◎	◎	◎	11, +6	○	◎	◎				
8	コンコン シヤンのうた 10 11 12 1 2 常	61	80.3%	◎	○	○	6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	18, +2	◎	○	◎				
9	ありさんのおはなし 5 6 7 8 9 常	60	78.9%	○	○	○	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	12, +4	◎	○	◎				
10	森の熊さん 4 5 7 8 9 10 11 常	57	75.0%	○	◎	◎	8	○	◎	◎	◎	◎	◎	4, +7	○	◎	◎				
11	小鳥のうた 4 5 6 常	56	73.7%	◎	○	○	8	◎	◎	◎	◎	◎	◎	14, +2	◎	○	◎				
	こぶたぬきつねこ 4 6 11 1 常	56	73.7%	○	○	○	8	◎	◎	◎	◎	◎	◎	10, +1	／	／	／				
13	かえるの合唱 5 6 常	55	72.4%	○	○	○	6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	19, +1	／	／	◎				
	山の音楽家 5 6 9 10 11 12 2 常	55	72.4%	○	○	○	5	○	◎	◎	◎	◎	◎	10, +6	◎	○	◎				
15	おんまはみんな 4 5 6 7 9 10 12 常	53	69.7%	○	○	○	／	◎	◎	◎	◎	◎	◎	4, +3	○	◎	◎				
16	ちやうちよう 4 常	52	68.4%	○	○	○	5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	15, +1	○	／	／				
17	やぎさんゆうびん 6 10 11 1 2 常	51	67.1%	○	○	○	4	○	◎	◎	◎	◎	◎	7, +4	○	○	◎				
18	こおろぎ 8 9 10 11 常	44	57.9%	○	○	○	5	○	◎	◎	◎	◎	◎	9, +5	◎	○	◎				
19	おすもうくまちゃん 5 6 10 11 12 1 2 常	43	56.6%	○	○	○	3	○	◎	◎	◎	◎	◎	4, +5	◎	◎	◎				
	山のワルツ 4 5 6 9 10 常	43	56.6%	○	◎	○	5	○	◎	◎	◎	◎	◎	3, +3	○	◎	◎				
	ぶんぶんぶん 4 5 6 7 8 常	43	56.6%	○	○	○	1	○	◎	◎	◎	◎	◎	5, +4	○	○	◎				
22	白熊のジェンカ 4 5 6 7 11 12 1 2 3 常	40	52.6%	○	○	○	5	○	◎	◎	◎	◎	◎	2, +2	○	○	◎				
23	かわいいかくれんぼ 4 5 6 9 常	38	50.0%	○	○	○	／	◎	◎	◎	◎	◎	◎	7, 0	◎	／	◎				

植物		1993年調査										1986年調査											
	曲 名	園 数	使 用 率	幼稚園					保 育 所					幼稚園					保 育 所				
				3	4	5	全	未	3	4	5	未含, 全	3	4	5	未	3	4	5				
1	チューリップ —4 5 —————3	69	90.8%	◎	○	○	5	◎	◎	◎	◎	23, + 1	◎	○	／	◎	◎	◎	○				
2	どんぐりころころ 9 10 11 —————常	65	85.5%	◎	○	○	6	◎	◎	◎	◎	23, + 1	◎	○	○	◎	◎	◎	◎				
3	でぶいもちやんちびいもちゃん 9 10 11 —————	56	73.7%	◎	◎	○	12	○	○	◎	○	8, + 3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
4	まつばっくり 9 10 11 —————	49	64.5%	○	○	○	3	◎	◎	◎	○	12, + 2	○	○	○	◎	◎	◎	◎				
5	きのこ 9 10 11 —————	46	60.5%	○	○	◎	7	○	○	○	○	3, + 6	○	◎	○	○	○	○	○				
6	おはながわらった 4 5 6 —————3	42	55.3%	○	○	○	5	○	◎	○	○	8, + 3	◎	○	○	◎	○	○	○				
7	はなのおくにのきしやぼっぼ 4 5 —————3	41	53.9%	○	○	○	2	○	○	○	○	1, + 5	○	○	○	／	○	○	○				
8	小さいにわ 4 5 6 —————3	39	51.3%	○	○	○	9	○	○	○	○	7, + 2	○	○	○	／	○	○	○				
9	はたけのポルカ 4 5 —7 8 9 10 11 —————常	38	50.0%	○	○	○	4	○	○	○	○	0, + 2	○	○	○	○	○	○	○				
食 物																							
1	とんでったバナナ —5 6 7 8 9 —————2 —常	56	73.7%	○	○	○	5	○	○	○	○	4, + 4	○	○	◎	○	○	◎	○				
2	アイスクリームのうた 6 7 8 —————2	53	69.7%	○	◎	○	3	○	○	○	○	5, + 3	○	○	○	○	○	○	○				
3	トマト —5 6 7 8 —————	46	60.5%	○	○	○	5	◎	◎	○	○	10, + 3	◎	○	○	○	◎	○	○				
4	カレーライスのうた —5 —7 8 9 —11 12 1 —3 常	39	51.3%	○	○	○	10	○	◎	○	○	5, + 5	／	○	○	／	／	／	／				
乗 物																							
1	バスごっこ —4 5 6 —————9 10 —————常	68	89.5%	◎	◎	◎	21	◎	◎	◎	◎	15, + 6	○	◎	○	○	◎	◎	◎				

「保育者養成における子どものうたの取り扱いについて（２）」

動物となかまに関する提示曲（67曲）・自由記載曲（58曲）合計125曲は、全体の17.5%を占めた。（子どものうた分類別表 3 動物となかま）

幼稚園では動物となかまのうたは主に 3 歳児クラスで使用されている。例外は 6 位「あめふりくまのこ」や19位「山のワルツ」が 4 歳児クラス、10位「森の熊さん」が 4・5 歳児クラスで多く使用されていることである。

1 位「かたつむり」、2 位「おつかいありさん」、3 位「とんぼのめがね」は1993年調査・1986年調査ともに使用している年齢が同じ傾向を示し、また通園や園庭で見かける身近な存在であるかたつむり・あり・とんぼを題材とした曲である。

2 位「おつかいありさん」、6 位「あめふりくまのこ」は軽やかなスキップのリズムを多く用いた曲である。

3 位「アイアイ」、10位「森の熊さん」は交互唱、11位「こぶたぬきつねこ」はしりとりでうたえるリズムカルな曲である。

また 3 位「ぞうさん」、9 位「ありさんのおはなし」、19位「山のワルツ」は子どものうたには数少ない 4 分の 3 拍子の曲である。

1986年調査に比べ、3 位「アイアイ」、11位「こぶたぬきつねこ」、13位「かえるの合唱」、16位「ちょうちょう」がよく使用されるようになった。

一方、18位「こおろぎ」、19位「おすもうくまちゃん」は1986年に比べ使用されなくなっている。

1 位「かたつむり」（明治44年、尋常小学唱歌Ⅰ）、16位「ちょうちょう」（明治14年、小学唱歌集初編）がうたいつがれている。

自由記載曲では「おたまじゃくし」が1986年調査にも掲げられているが使用する園（所）が増加の傾向であった。

植物に関する提示曲（32曲）・自由記載曲（28曲）合計60曲は、全体の8.4%を占めた。（子どものうた分類別表 3 植物）

1 位「チューリップ」は子どもに身近な春に咲く花で、メロディも 6 度の音域と狭く順次進行が多いので親しみやすくうたやすい。

9 位「はたけのポルカ」はポーランド民謡でリズムカルな曲である。

2 位「どんぐりころころ」（大正10年、かわいい唱歌）がうたいつがれている。

自由記載曲では「さくらのうた」が1986年調査にも掲げられているが使用する園（所）が増加の傾向であった。

食物に関する提示曲（8 曲）・自由記載曲（16曲）合計24曲は、全体の3.4%を占めた。（子どものうた分類別表 3 食物）

1 位「とんでったバナナ」は 6 コーラスまである大へん長いうたであるがお話になっている

多 保 田 治 江

ので楽しくうたえる。

自由記載曲でも「バナナの親子」「アイスクリーム」が使用されており、バナナ・アイスクリームにちなむうたが含まれている。

乗物に関する提示曲（9曲）・自由記載曲（7曲）合計16曲は、全体の2.2%を占めた。（子どものうた分類別表3乗物）

過半数の幼稚園・保育所で使用される曲は「バスごっこ」のみだが、89.5%と高い使用率である。最近園（所）の近辺だけでなく通園バスを運行している所が多いことも一因であろう。

自由記載曲では、「うちゅうせんのうた」が1986年調査にも掲げられているが使用する園（所）が増加の傾向であった。

提示曲・自由記載曲を分類した結果、各3分の1の割合であった。本学では保育科学生に子どものうた履修のバラツキがないよう各分類を2年間で最低5曲ずつ弾きうたいができるように10年前よりしているが割合が妥当であることがわかる。

I生活・遊び2曲、II季節・行事・自然2曲、III動物となかま・植物・食物・乗物3曲うたいつがれている子どものうたがあるが、歌詞が現在でも不自然でないもので新しい子どものうたばかりでなく家族でうたえるうたを残したいという配慮も推察される。

おわりに

保育者養成における子どものうたの指導のあり方、望ましい教材の方向性を探るため、学生の子どものうたの楽譜に対する意識調査と幼稚園や保育所の現場で使用されている子どものうたの分析を行った。

その結果、学生は三段楽譜⑥と定義した楽譜に対してうたうことにも伴奏を弾くことにも充実感や達成感を持つが、その過程の困難さを感じていることがわかった。

子どものうたの特徴を知るために行った提示曲ベスト50曲の楽譜の分析と提示曲・自由記載曲合計716曲の分類別考察から得られたデータを踏まえた上で、今後学生が躊躇なく伴奏を弾けるようになるための教材研究をしていきたい。

註

1. アメリカ合衆国フロリダ州タンパで開催された。
2. 「かえるの合唱変奏曲」は「音楽広場（198年6月）」に掲載されたものを使用。バッハ・モーツァルト・ショパンの作風に似せた変奏とジャズ風・BGM風の5種類がある。
3. 多保田治江「保育者養成における子どものうたの取り扱いについて（1）」北陸学院短期大学紀要第25号1993年
4. 多保田治江「幼児の歌う活動について（3）」北陸学院短期大学紀要第19号1987年

「保育者養成における子どものうたの取り扱いについて（２）」

参 考 図 書

- ・日本保育学会編「幼児の表現と保育」フレーベル館 1990年
- ・三瓶政一朗編「日本童謡全集」音楽之友社 1973年
- ・井上武士編「日本唱歌全集」音楽之友社 1975年

資 料

○一段楽譜

ちょちょちょ（遊ばせうた）



○二段楽譜

あたまのうえには

●まど みちお作詞／大中 恩作曲

1. あ た ま の う え に は ぼ う し が あ る よ
2. あ た ま の う え に は な ん に も な い よ

多保田 治 江

○三段楽譜①

こいのぼり

$\text{♩} = 120$ えほん唱歌

やねより たかい こいのぼり

○三段楽譜②

いぬのおまわりさん

さとうよしみ 作詞
大中 恩 作曲

mf

1. まいごの まいごの こねこちゃん あなたの おうちは
2. まいごの まいごの こねこちゃん このこの おうちは